

除草剤

バスタ[®]液剤

[®]=BASF社の登録商標

除草剤分類 **10**

有効成分

グルホシネート 18.5%

登録番号：第20958号

性 状：青緑色澄明水溶性液体

毒 性：普通物*

有効年限：4年

包 装：500ml×20本

1ℓ×12本

2.2ℓ×6本(系統のみ)

5ℓ×4本

10ℓ×2本(系統のみ)



*普通物：毒劇物に該当しないものを指している通称

■特長

●多くの作物に登録があります。

現在の登録数は90作物以上と、多くの作物に登録があります。

●人・作物・土・環境に優しい除草剤です。

・バスタは使う人への安全性が高い(普通物)だけでなく、作物には直接薬液がかからなければ影響がありません。地面に落下した有効成分は、土壌微生物によりすばやく分解されるので、土にも環境にもやさしい除草剤です。

・地面に落下したグルホシネート(バスタ液剤の有効成分)は、土壌中の微生物によって速やかに分解され、最終的には「炭酸ガス」「リン酸」「水」に変化します。土壌中に有効成分が残留・蓄積する心配はありません。

●幅広い種類の雑草に高い効果があります。

イネ科、広葉、一年生、多年生を問わず、ほとんどの雑草に高い効果を示します。

●効果の発現が速く、長期間抑草します。

散布後2~5日で効果が発現し、7~14日後効果が完成します。

■適用雑草と使用方法

(2024年10月2日現在)

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グルホシネート及びグルホシネートPを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
小麦	—	一年生雑草	耕起前・は種前 (雑草生育期)	300～750mℓ /10a	100～150ℓ /10a	1回	雑草茎葉散布	4回以内 (は種後は3回以内)
	圃場内の周縁部		は種後出芽前 (雑草生育期)	300～500mℓ /10a				
大麦	—		収穫7日前まで (雑草生育期)			1回		
	圃場内の周縁部		耕起前・は種前・ は種後出芽前 (雑草生育期)					
そば	—		収穫7日前まで (雑草生育期)			3回以内		
	圃場内の周縁部		耕起前・は種前・ は種後出芽前 (雑草生育期)					
かんきつ りんご	—	収穫前日まで (雑草生育期)	500～1000mℓ /10a	通常散布 100～150ℓ /10a	3回以内	3回以内		
		多年生雑草	300～500mℓ /10a	少量散布 30～40ℓ /10a				
一年生雑草		500～1000mℓ /10a					100～150ℓ /10a	
ぶどう		多年生雑草	300～500mℓ /10a	3回以内				
		一年生雑草	500～1000mℓ /10a					
なし おうとう かき もも 小粒核果類 ネクタリン ブルーベリー		—	一年生雑草	300～500mℓ /10a			100～150ℓ /10a	3回以内
	—	多年生雑草	500～1000mℓ /10a					
いちじく	—	一年生雑草	300～500mℓ /10a	100～150ℓ /10a	3回以内	3回以内		
びわ キウイフルーツ		多年生雑草	500～750mℓ /10a					

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グルホシネート及びグルホシネートPを含む農薬の総使用回数					
				薬量	希釈水量								
いちょう (種子)	—	一年生雑草	収穫14日前まで (雑草生育期)	300～ 500mℓ /10a	100～ 150ℓ /10a	3回以内	雑草 茎葉 散布	3回以内					
		多年生雑草		500～ 1000mℓ /10a									
くり		一年生雑草	収穫30日前まで (雑草生育期)	300～ 500mℓ /10a					3回以内	3回以内			
		多年生雑草		500～ 750mℓ /10a									
キャベツ はくさい		一年生雑草	収穫45日前まで (雑草生育期 耕起前・定植前 又は畦間処理)	300～ 500mℓ /10a							2回以内	3回以内	2回以内
うり類 (未成熟)													
なす ピーマン とうがらし類 トマト ミニトマト いちご						収穫前日まで (雑草生育期 耕起前・定植前 又は畦間処理)							
すいか ねぎ たまねぎ ブロッコリー						収穫45日前まで (雑草生育期 耕起前・は種前 又は畦間処理)		2回以内			2回以内		
だいこん						収穫7日前まで (雑草生育期 耕起前・は種前 又は畦間処理)							
はつかだいこん たかな ほうれんそう						収穫45日前まで (雑草生育期 耕起前・は種前 又は畦間処理)		3回以内	3回以内				
みしまさいこ						収穫30日前まで (雑草生育期 耕起前・定植前 又は畦間処理)							
メロン レタス 非結球レタス かぼちゃ						収穫前日まで (雑草生育期 耕起前・は種前 又は畦間処理)		3回以内	3回以内				
ごぼう	収穫前日まで (雑草生育期 耕起前・は種前 又は畦間処理)												
にんじん オクラ	収穫前日まで (雑草生育期 耕起前・は種前 又は畦間処理)				3回以内	3回以内							

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グルホシネート及びグルホシネートPを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
アスパラガス	—	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期 萌芽前又は 畦間処理)	300～ 500mℓ /10a	100～ 150ℓ /10a	2回以内	雑草 茎葉 散布	2回以内
			収穫打切り後 (雑草生育期)					
さといも やまのいも			収穫30日前まで (雑草生育期 耕起前・植付前 又は畦間処理)			3回以内		3回以内
さといも (葉柄)			収穫7日前まで (雑草生育期 耕起前・植付前 又は畦間処理)					
かんしょ			収穫14日前まで (雑草生育期 耕起前・挿苗前 又は畦間処理)	200～ 500mℓ /10a		2回以内		2回以内
こんにゃく			雑草生育期 耕起前・植付前・ 植付後萌芽前	200～ 300mℓ /10a		3回以内		3回以内
			収穫30日前まで (雑草生育期 畦間処理)	300～ 500mℓ /10a				
ばれいしょ			雑草生育期 耕起前・植付前・ 植付後萌芽直前	100～ 200mℓ /10a		1回		3回以内 (萌芽前は1回以内、 萌芽後は2回以内)
			収穫21日前まで (畦間処理: 雑草生育期)			2回以内		
豆類 (種実、ただし、 だいずを除く)			耕起前・は種前・ 定植5日前まで (雑草生育期)	300～ 500mℓ /10a		3回以内		3回以内
			収穫28日前まで (畦間処理: 雑草生育期)					

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グルホシネート及びグルホシネートPを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
だいず	—	一年生雑草	耕起前・は種前・は種後出芽前・定植5日前まで (雑草生育期)	300～ 500ml /10a	100～ 150ℓ /10a	3回以内	雑草 茎葉 散布	3回以内
豆类 (未成熟、 ただし、 えだまめを 除く)			収穫28日前まで (畦間処理： 雑草生育期)					
えだまめ			収穫28日前まで (株間処理： 本葉5葉期以降 雑草生育期)					
			収穫前日まで (雑草生育期 耕起前・は種前・ 定植前 又は畦間処理)					
なばな類 かぶ			耕起前・は種前・ は種後出芽前・ 定植5日前まで (雑草生育期)					
			収穫前日まで (畦間処理： 雑草生育期)					
いら			収穫21日前まで (雑草生育期 耕起前・は種前・ 定植前又は 畦間処理)					
			収穫前日まで (雑草生育期 耕起前・は種前・ 定植前又は 畦間処理)					
ほうきぎ			収穫21日前まで (雑草生育期 耕起前・定植前 又は畦間処理)					
にんにく			収穫前日まで (雑草生育期 耕起前・植付前 又は畦間処理)					
しょうが	収穫前日まで (雑草生育期 耕起前・植付前 又は畦間処理)							
葉しょうが	収穫14日前まで (雑草生育期 耕起前・植付前 又は畦間処理)							

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グルホシネート及びグルホシネートPを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
食用ぎく	—	一年生雑草	収穫14日前まで (雑草生育期 耕起前・は種前・ 定植前又は畦間 処理)	300～ 500mℓ /10a	100～ 150ℓ /10a	2回以内		2回以内
水田作物			耕起15日前まで (雑草生育期)					1回
水田作物 (水田畦畔)	水田畦畔	一年生雑草 多年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期)	500～ 1000mℓ /10a	通常散布 100～ 150ℓ /10a	3回以内		3回以内
水田作物 畑作物 (休耕田)	休耕田		雑草生育期		少量散布 30～ 40ℓ /10a			
水田作物 (水田刈跡)	水田刈跡	一年生雑草		300～ 500mℓ /10a		1回		1回
さんしょう (果実)	—	多年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期)	500～ 750mℓ /10a		2回以内		2回以内
みょうが (花穂)		一年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期萌芽前 又は畦間処理)	300～ 500mℓ /10a	100～ 150ℓ /10a			
みょうが (莖葉)			みょうが(花穂)の 収穫7日前まで、 ただし、花穂を収穫 しない場合にあって は開花期終了まで (雑草生育期萌芽 前又は畦間処理)					
ぎぼうし			収穫60日前まで (雑草生育期： 耕起前・は種前 又は畦間処理)			3回以内	3回以内	
わらび		一年生雑草 多年生雑草	収穫14日前まで (雑草生育期 萌芽前)	500～ 1000mℓ /10a		1回		1回

雑草
莖葉
散布

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グルホシネート及びグルホシネートPを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
しそ	—	一年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期 耕起前・は種前・ 定植前 又は畦間処理)	300～ 500mℓ /10a	100～ 150ℓ /10a	2回以内	雑草 茎葉 散布	2回以内
しそ (花穂)			収穫14日前まで (雑草生育期 耕起前・は種前・ 定植前 又は畦間処理)					
食用桑(葉) 食用桑(果実)			収穫45日前まで (雑草生育期 春期萌芽前及び 夏切り後萌芽前)			3回以内		3回以内
せり科葉菜類 (パセリを除く)			収穫7日前まで (雑草生育期: 定植前又は 畦間処理)					
パセリ			収穫3日前まで (雑草生育期 耕起前・定植前 又は畦間処理)			2回以内		2回以内
モロヘイヤ			収穫3日前まで (雑草生育期 耕起前・は種前・ 定植前 又は畦間処理)					
もりあざみ			収穫30日前まで (雑草生育期 耕起前・は種前 又は畦間処理)			3回以内		3回以内
ふき			収穫120日前まで (雑草生育期 耕起前・定植前 又は畦間処理)			2回以内		2回以内
ふき (ふきのとう)			収穫75日前まで (雑草生育期 耕起前・定植前 又は畦間処理)					
たけのこ			収穫30日前まで (雑草生育期)			3回以内		3回以内
たらのき			収穫45日前まで (雑草生育期 耕起前・植付前 又は畦間処理)					
とうもろこし 飼料用 とうもろこし			収穫7日前まで (雑草生育期: は種前又は 畦間処理)					

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グルホシネート及びグルホシネートPを含む農薬の総使用回数		
				薬量	希釈水量					
ヤングコーン	—	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期: は種前又は 畦間処理)	300~ 500mℓ /10a	100~ 150ℓ /10a	3回以内	雑草 茎葉 散布	3回以内		
さとうきび		多年生雑草	植付前 (雑草生育期)	500~ 2000mℓ /10a		1回		4回以内 (植付後は3回以内)		
			一年生雑草	300~ 500mℓ /10a		3回以内				
		多年生雑草	収穫14日前まで (雑草生育期: 畦間処理)	500~ 2000mℓ /10a					1回	
			一年生雑草	300~ 500mℓ /10a						
なたね		一年生雑草	収穫30日前まで (雑草生育期 耕起前・は種前 又は畦間処理)	300~ 500mℓ /10a		1回		1回		
茶			摘採7日前まで (雑草生育期 畦間処理)			2回以内		2回以内		
花き類・ 観葉植物			雑草生育期 畦間処理			通常散布 100~ 150ℓ /10a 少量散布 30~ 40ℓ /10a		3回以内	3回以内	
樹木類			一年生雑草							雑草生育期
樹木等	公園 庭園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地 のり面 鉄道等	雑草生育期	500~ 1000mℓ /10a	通常散布 100~ 200ℓ /10a	植栽 地を 除く 樹木 等の 周辺 地に 雑草 茎葉 散布					
		多年生雑草	1000~ 2000mℓ /10a	少量散布 30~ 40ℓ /10a						
日本芝 (こうらいしば)	—	一年生雑草	雑草生育期 芝休眠期	300~ 500mℓ /10a	100~ 150ℓ /10a	1回	雑草 茎葉 散布	1回		

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グルホシネート及びグルホシネートPを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
たばこ	—	一年生雑草	植付10日前まで (雑草生育期)	200～ 300mℓ /10a	100～ 150ℓ /10a	1回	雑草 茎葉 散布	1回
大土寄期 (雑草生育期 畦面・畦間処理)								
雑草生育期 春期萌芽前及び 夏切り後萌芽前			300～ 500mℓ /10a	3回以内		3回以内		
収穫30日前まで (雑草生育期 耕起前・定植前 又は畦間処理)								
ホップ	収穫前日まで (雑草生育期: 畦間処理)							

マイナー作物等の登録拡大に伴いグループ化した作物名

グループ化した作物名	含まれる作物(品種)
小粒核果類	あんず、うめ、すもも
とうがらし類	甘長とうがらし、かぐらなんばん、きだちとうがらし、ししとう、とうがらし、ハバネロ、ピカンテ
非結球レタス	かきちしゃ、サラダ菜、立ちちしゃ、美味タス、リーフレタス
豆類(種実)	あずき、いんげんまめ、えんどうまめ、ささげ、そらまめ、だいず、なたまめ、ふじまめ、べにばないんげん、らっかせい
なばな類	あさまこな、あすっこ、アレッタ、おおさきな、太田かぶ、オータムポエム、大月菜、大野菜、かいらん、かきな、勝山水菜、くきたちな、ケールッコラ(なばな栽培)、こうさいたい、こまつな(なばな栽培)、さいしん、三景雪菜、四川児菜、たべたい菜、チーマデラーパ、チンゲンサイ(なばな栽培)、チンゲンルッコラ(なばな栽培)、摘菜花、つぼみな、なばな、のらぼうな、博多蕾菜、はくさい(なばな栽培)、はたけな(なばな栽培)、はなっこりー、みずかけな、めいけな

農薬登録における作物群の作物名について(2021年1月14日改正)「農薬の適用病害虫の範囲および使用方法に係る適用作物等の名称について」(2019年3月29日付け30消安第6281号農林水産省消費・安全局農産安全管理課長通知)農林水産消費安全技術センターホームページをご参照ください。
<http://www.acis.famic.go.jp/shinsei/6281.pdf>

表の使用に際しては以下の事項に留意してください。

注1 現在、農薬の適用作物には含まれていない作物を含みます。適用作物に含まれていない作物については、農薬登録時にその名称が変更される場合があります。

注2 品種名及び栽培条件(施設栽培等)等については省略している場合がありますが、農薬登録時に品種名又は栽培条件等の指定がある場合は、当該品種又は栽培条件等によりのみ使用できるものです。

⚠ 効果・薬害等の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤は土壌に落下すると速やかに不活性化し、効果を発現しないので薬液が雑草の茎葉全体に均一にかかるように散布してください。また、雑草が大きくなりすぎると効果が低下するので、草丈30cm以下を目安に時期を失ないように散布してください。但し花き類・観葉植物に使用する場合は草丈20cm以下、休耕田では草丈50cm以下の雑草に散布してください。
- アレチウリ(一年生雑草)の草丈1~2mの防除には、500ml/10a以上の薬量で使用してください。
- 散布後6時間以内の降雨は効果を減ずることがあるので、天候をよく見極めてから散布してください。
- 植物に薬液が付着すると薬害が生じるので、散布液が付近の農作物、樹木の茎葉に飛散しないよう散布してください。特に、野菜類の生育期畦間散布や水田畦畔で使用する場合は作物にかからないように十分注意して散布してください。
- 少量散布の場合は専用のノズル(30~40ℓ/10a)を使用してください。
- 芝に散布する場合、生育中の芝には薬害を生じるので使用しないでください。また、芝の休眠直後や萌芽期に近くなってからの散布では萌芽抑制などの薬害を生じることがあるので、芝が完全に休眠している時期に散布してください。
- だいたいの畦間・株間処理に使用する場合、噴口はできるだけ低くし、本葉にかからないように散布してください。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 水源池等に本剤が飛散、流入しないように十分に注意してください。
- 散布器具、容器等の洗浄水は河川等に流さず、空容器はほ場などに放置せず、環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けてください。

⚠ 安全使用上の注意事項

- 公園、堤とうなどで使用する場合は、散布中および散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 水源地等に本剤が飛散・流入しないように十分に注意してください。
- 散布器具、容器等の洗浄水は河川等に流さず、空容器は圃場などに放置せず、環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないように注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際には防護マスク、不浸透性防除衣などを着用してください。散布液を吸い込んだり、浴びないように注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがい、洗眼してください。

さらに詳しい製品情報はこちらから

※QRコードを読み込む、
またはクリックしてください。



バスタ専用製品ページ